

水戸市議会報

令和元年

6月定例会

No.228

2019年8月1日号



千波公園用地取得など 21議案を可決

- 定例会あらし 2
- 代表質問 3
- 一般質問 6
- 特別委員会の設置 10
- 常任委員会報告 11

水戸黄門まつりは、今年、内容を大幅にリニューアルし、日本三大提灯産地の一つの水戸ならではの提灯装飾による水戸黄門提灯行列(8/3(土))や、市民神輿として日本最大級のふるさと神輿渡御(8/4(日))などを新たに実施する(平成30年撮影)。



定例会あらまし

会期

6月5日から25日までの21日間

議員質問

- ・代表質問6名
- ・(3～6ページ参照)
- ・一般質問14名
- ・(6～9ページ参照)

委員会付託議案審査

- (1)各常任委員会における市長提出の付託議案の審査
- (2)各常任委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告
- (11ページ参照)

反対討論1名

- (4)一括採決の結果、いずれも原案のとおり可決、承認

人事案件

- ・市長追加提出の人事案件3件をいずれも同意
- (3ページ参照)

特別委員会の設置

- ・5件の特別委員会の設置及び委員の選任を決定
- (10ページ参照)

意見書

- ・議員提出の意見書1件を可決
- (11ページ参照)

陳情

- (1)総務環境委員長による陳情審査結果の報告
- (2)令和元年陳情第3号及び令和元年陳情第4号は不採択
- (11ページ参照)

議員の派遣

- ・親善都市高松市等への議員派遣を可決

閉会中所管事務調査

- ・各常任委員会等からの閉会中所管事務調査の申し出を承認

※6月5日～7日の内容については、7月15日発行の臨時号に掲載しています。



永年勤続議員

表彰及び感謝状

全国及び茨城県の市議会議長会総会等において、4名の議員が永年勤続議員として表彰されました。また、全国市議会議長会理事の職を務められたことに対し、前議長に感謝状が贈られました。

《表彰》

全国・茨城県市議会議長会
議員在職40年以上
松本 勝久

全国・茨城県市議会議長会
議員在職20年以上
須田 浩和
五十嵐 博
田 中 真己

《感謝状》

全国市議会議長会理事
田 口 米 蔵

市議会の運営

【本会議】 議員全員で構成し、市議会の意思を決定する会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的には全て本会議において決定します。また、議員が市政全般の施策等について市長の考えを問いただす代表質問、一般質問などを行います。

【委員会】

【議会運営委員会】

議会運営を円滑に行うため、各会派の代表者による8名の委員からなる議会運営委員会を設置しています。各会派の意見を調整し、議会運営上必要な事項に関し取り決めを行います。

【常任委員会】

市の業務は非常に幅広く複雑なため、少人数の議員で構成する常任委員会を設け、議案や請願などを専門的、能率的に審査しています。本市議会には、4つの常任委員会があります。

【特別委員会】

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算などを審査する特別委員会と、特定の問題を審査、調査する特別委員会があります。いずれも臨時的に設置して、審査、調査が終了するとなくなります。

可決した議案

市長提出議案	2件
令和元年度補正予算	6件
条例の改正	13件
その他	21件
計	21件

今定例会で可決した議案から主なものを紹介します。

市税条例の一部改正

地方税法等の改正に伴い、法人市民税の税率を引き下げるとともに、軽自動車税について、自動車取得税の廃止に伴う環境性能割の新設等を行うもの。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

基準となる省令の改正に伴い、放課後児童支援員の資格について、関係規定の整備を行うもの。



提案理由を説明する高橋市長

児童遊園条例の一部改正

開発行為による児童遊園9園の帰属に伴い、関係規定の整備を行うもの。

火災予防条例の一部改正

基準となる省令の改正に伴い、住宅用防災警報器等の設置免除について、関係規定の整備を行うもの。

介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令の改正に伴い、低所得者に対する介護保険料の軽減措置を拡充するもの。

土地の取得

千波公園用地として、レイクサイドポウル跡地を取得するもの。

令和元年度補正予算

〔一般会計〕

◆補正総額 1億2012万8000円増

主な事業

・介護保険料減額に伴う特別会計への繰出金の増額

人事

- 水戸市監査委員 田口米蔵(選任)
- 五十嵐博(選任)
- 水戸市職員懲戒審査委員会委員 小泉直紀(選任)

代表質問

新生水政改革水戸

本松 久勝

「M-Mission」の

実現に向けた取組は

Q 市長はこれまで安心できる暮らしの実現という政治理念の下、将来を見通したまちづくりを積極的に進めてきており、さまざまな成果を挙げてきた。その実行力は評価に値するものである。そこで、(1)3期目にかける市長のまちづくりへの思いと、(2)市長が選挙の公約として掲げたM-Missionの理念及びその実現に向けた取組について、それぞれ伺いたい。

A (1)将来を見据えた持続可能なまちを目指し、子育て支援や教育、介護、医療の充実など、より一層力を注いでいく。(2)市民の命と健康を守り、人を育むという理念の下、学び子の夢と希望を育むなど5つの柱を設定している。民間保育所の環境向上、定員拡大をはじめとする74施策をそれぞれの柱に位置付け、各目標の達成に向けて重点的に取り組んでいく。

借楽園・千波湖周辺の

にぎわいづくり推進を

Q 千波公園に隣接するレイクサイドポウル跡地取得の進展は、大変喜ばしい成果である。今後は、土地

A の利活用に関する議論を次の段階に進めるべきであり、これまで提案してきた観光水戸城の建設や千波公園の整備について、早急な検討を要望する。本市のシンボリック空間である借楽園・千波公園周辺の魅力向上や観光振興に向け、どのように整備を進めていくのか、県との連携も含め見解を伺いたい。

整備基本計画に新たな観光交流拠点を位置付けており、魅力の向上やにぎわいの創出につながる施設となるよう検討を進めていく。また、千波公園の整備は、国が新たに創設したpark PFI(※)の活用を検討している。借楽園の整備充実を計画する県と連携し、互いの整備が相乗効果を上げるよう、魅力の向上策を講じていく。



重要な観光拠点である千波湖周辺

その他の質問

- 連携中核都市圏構想による広域行政の推進を
- にぎわいと文化の拠点となる新市民会館整備を
- 通園、通学の安全確保は
- 保育所持機児童の解消策は

※ Park-PFI…特定の公園に対し、公園利用者の利便性向上につながる飲食店等の設置と、当該施設から生じる収益を活用して公園の広場や園路などの整備を一体的に行う者を募集する制度。(4, 8ページも同様)

公明党水戸市議会

い が ら し
五 十 嵐
の し 博

子どもの命を守る

交通安全対策の強化を

Q 幼い命が犠牲になる事故が後を絶たず、子どもの命を交通事故から守る対策が急務であり、公明党水戸市議会では、交通安全対策強化に関する緊急要望を提出したところである。交差点の待機場所へのガードレール設置等の対策強化を求めるものであり、これらの実現には、警察等の関係機関との連携が重要である。また、あらゆる機会を通じて、市民一人一人の意識を高揚に向けた啓発活動を行うなど、市が一丸となって取り組む環境整備が求められる。そこで、ハード、ソフト両面における対策の現状と今後の取組について伺いたい。

A 安全対策推進会議を組織し、関係機関と一体的に取り組んでいる。地域と連携した通学路現況調査を行い、改善策を講じるほか、立哨指導等を実施している。今後、防護柵の設置や歩道の拡幅等のハード面の対策も検討していく。

新市民会館の一日も早い整備を

Q 新市民会館は芸術文化の向上はもとより、コンベンションの拠点と

して新たな市民交流やまちのにぎわいを創出する施設である。一日も早い開館を望む多くの市民の声に答えなければならぬと考えるが、市街地再開発事業の現状と今後のスケジュールについて伺いたい。また、各団体等からの要望を取り入れながら事業を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

A 3月に大きな節目となる権利変換計画の認可を得るとともに、解体工事と施設建築物新築工事の請負契約を締結した。建物解体、整地工事の完了後は速やかに新築工事に着手し、2022年9月のオープンに向け、着実な工事進捗に努める。市民目線の運営を展開する仕組みづくりを検討するとともに、官民連携により施策を推進する。



新市民会館の外観(イメージ図)

その他の質問

- 原子力防災対策会議の現状と今後の取組は
- 防災用自動起動ラジオの無償貸与と後の取組は
- 地域での防犯カメラ設置に対する助成制度の導入を
- 充足率の低下が進む公立幼稚園の今後の方向性は
- リサイクルセンター整備の現状とみ分別の周知は

魁、水戸

き も と
木 本
し ん た ろ う
信 太 郎

業務委託事業入札における

ダンピング防止策を

Q 市の入札制度では、建設・製造等事業においてダンピング等防止の制度が導入されている。しかし、業務委託事業にはそうした制度がなく、極めて低価格での落札もあると聞いている。働き方改革は、企業の労働環境改善を求めるものだが、企業収益を圧迫する側面もある。働き方改革を推奨する観点から、業務委託事業入札においては、先進事例を参考にしつつうえで、過度な競争や低入札に一定の制限を設けるべきと考えるがどうか。

A 本年度から請負業者の格付け等級における算定で、雇用者待遇改善の取組を新たに評価項目とし、加点对象とした。今後、施設維持管理等の業務委託の入札状況等を検証しながら、ダンピング防止制度を適用する対象業種の範囲を判断したうえで、基準額の設定方法等、制度的な枠組みを検討する。

千波公園の環境整備と

今後の展望は

Q 千波公園では、水辺の再生に向け、官民が一体となって、千波湖の環境整備や市民参加の意識向上など

A (1)令和2年度末に整備を完了した後、国による試験を実施し、令和4年度から本格的に導水を開始する。(2)本年度は、サウンディング調査を実施し、民間事業者参入の可能性を検討する。その後、策定する指針に基づいて事業者を決定し、事業者が公園施設の整備を行う。(3)世界に誇れる公園都市・水戸を目指し、整備推進に努める。



市民の憩いの場である千波公園

その他の質問

- 新税・森林環境譲与税の活用について
- ・収入見込みと財源の活用内容及び範囲は
- ・公園整備のための基金設置の考え方は
- まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ・4年間の取組と成果、第一次の考え方は

県都市民クラブ

塚雄 孝

インバウンド都市構想と 外国人労働者への取組は

Q 市長は観光交流人口450万人を目標として掲げ、地域の活性化に向けて取り組んでいる。近年、外国人観光客が急増しているが、(1)インバウンド都市を目指す市の考えを伺いたい。(2)労働力不足解消に向けて、外国人実習生等を積極的に呼び込むことが重要である。外国人労働者に対する日本語教育をより推進していくことが必要と考えるが、国際交流センター等の活用について、見解を伺いたい。

A (1)2023年度における外国人の年間入込観光客数の目標値を10万人と掲げたところであり、民間事業者とも連携協力しながら、一体的に取り組んでいく。(2)国際交流センターを活用して日本語を学ぶ機会の提供に努める。また、外国人労働者の抱える課題解決に向け、総合的な支援体制の在り方について検討していく。

ロマンチックゾーンの 早急な整備推進を

Q ロマンチックゾーンの中心的役割を担う保和苑のあじさいまつりが6月9日にスタートしたが、(1)保

和苑南側の入り口への景観整備や案内看板が不十分と考える。今年から新しくライトアップイベントも始まることから、早期の整備を要望するが見解を伺いたい。(2)万葉集にも記される湧き水である曝井は、訪れた観光客がより堪能できるよう再整備が必要と考えるが、今後の計画を伺いたい。

A (1)昨年度、仁王門前に保和苑の案内看板を新設したところであり、参道周辺の更なる景観整備や入り口の整備等についても検討を進めていく。(2)魅力創出のため、萬葉曝井の森として開設し、公園に近接する高台に駐車場を整備した。ロマンチックゾーン内の景観整備の方策と合わせ、駐車場の増設も検討していきたい。



観光客から注目される保和苑のあじさい

その他の質問

- 市長の期目を目指すまちづくりへの思いは
- インターネット利用の産業集積エリア指針の進捗は
- 公立保育所及び幼稚園の認定こども園化は
- 借家園と弘道館の有料化に関する協議状況は

日本共産党水戸市議団

田中 真己

東海第二原発の 再稼働反対の決断を

Q (1)東海第二原発に対する国の審査に多くの疑問が出されている。日本原電は防潮堤など工事資料の重要部分を非公開とし、テロ対策施設を含めた工事費は3000億円に膨らむと言われるが、資金調達も不透明である。電力会社から約1兆円の基本料金が日本原電に支払われてきたが、電気料金の上乗せによる市民負担増につながることから、一刻も早く再稼働中止の決断を迫るべきと考えるがどうか。(2)県は、東海第二原発の必要性に対する見解や放射性廃棄物の処理等について毎年国に要望しているが、市も要望すべきではないか。(3)市長が表明した市民意向調査は、いつどのように行うのか。

A (1)広域避難計画を策定しない限り再稼働はあり得ない。(2)国、県と連携を図る。(3)時期を捉え、相当数を対象にアンケートを実施する。

新市民会館の建設計画は 一から見直しを

Q (1)新市民会館の建設計画は、費用

や規模、立地について、市民理解のないまま進められてきた。3月

末に締結した新築工事及び解体工事の契約は、議会への説明や審議もなく議会軽視ではないか。(2)権利変換計画は、意に添わない移転を迫られた地権者がいる一方で、手厚い支援を受ける企業がいる。特定企業を優遇するものではないか。(3)補償費増額、資材費高騰により、建設費が27億円増加し、周辺整備も含めて総額約350億円になるとの答弁があったが、議会に諮っておらず、到底認められない。市はいつから知っていたのか。

A (1)特別委員会閉会後に契約を締結したため、契約後直ちに報告した。(2)特定企業を優遇するものではない。(3)三年前からの状況の変化や調査の進展によってかい離が生じた。補償費は削減できない。



新市民会館建設予定地(泉町1丁目)

その他の質問

- 消費税増税による市民生活や地域経済への影響は
- 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の創設を
- 運転免許証の自主返納者への支援制度は
- タクシー券補助制度等市的な支援の実施を

民主・社民フォーラム

飯田正美

東海第二原発再稼働における 市民意向調査の詳細は

市民意向調査の詳細は

Q 東海第二原発については、日本原電が再稼働の意思を表明している。しかし、安全対策など多くの問題が解消されておらず、各自治体の広域避難計画策定も現実的でない状況にある。新協定による事前協議が始まる中、市民の安全と安心を確保する政治決断を期待するが、市民意向を把握するための1万人規模アンケートの実施時期や結果の活用方法を伺いたい。

A 意向調査の実施前に、市民に判断材料をしっかりと提供することが重要と認識している。そのため、広域避難計画の策定や、住民説明会による周知、所在地域首长懇談会をはじめとした周辺自治体と連携した安全対策、日本原電との協議状況の公開など、取組を十分に進める。市民の意見を聴く環境を整えたうえで、時期を捉えて広く調査を実施する。

デゴイチの保存と 活用に係る今後の計画は

活用に係る今後の計画は

Q 千波湖畔に展示されているデゴイチは、昭和46年に市が水戸鉄道管理局から無償で借り受け、同年設

立したデゴイチを守る会が清掃や点検作業を行っている。しかし、設置場所が屋外のため、雨風で傷みやすく、いたずらで傷つけられることもあり、今後の保存方法に課題がある。デゴイチは、鉄道ファンや子どもたちの憧れであり、次世代に継承すべき貴重な財産であることから、より効果的な保全方法と観光資源としての活用が望まれるが、今後の計画を伺いたい。

A 定期的に修繕を行うため、JR東日本と譲渡等に係る協議を進め、必要な財源確保を検討する。今後も、イベント等の取組の幅を広げ、デゴイチを守る会や周辺イベントと連携しながら、デゴイチを活用したにぎわい、交流を生み出す取組を進めていきたい。



千波湖畔のデゴイチ (D51 型蒸気機関車)

その他の質問

- 老人福祉センターでの子育て支援事業は
- 老人福祉センターの名称見直しを
- 新たなごみ分別の周知啓発を
- 空家等対策に係る市の取組は
- 市民懇談会以外の意見聴取の手法は

▼一般質問

開放学級の増設と 支援員待遇の改善を

庭岡次男

Q (1)開放学級は、定員を上回る学級が85%もあり、見川小ではプレハブの図工室で定員の3倍の児童数を受け入れている。空き教室を利用するなど開放学級を増設してはどうか。(2)6年生までの受け入れ未実施校は3月末で19校であった。本年度中に全校実施してはどうか。(3)支援員の待遇改善や増員に取り組んではどうか。(4)障害児に対し専任の支援員を配置してはどうか。

A (1)余剰教室の活用や専用棟建設により学級数を拡大した。支障のない範囲で定員を超過して受け入れ、施設を弾力的に運用している。見川小では状況により家庭科室も活用している。(2)本年度中の実施に努める。(3)報酬額の引き上げを行うとともに、支援員確保に努めている。(4)確保が難しく、状況に応じて支援員を増員し対応している。



開放学級運営の様子

その他の質問

- 国保税の一世帯1万円の値下げを
- 市営住宅の連帯保証人制度の廃止を
- 高齢者、低所得者にエアコン設置補助を

田野市民運動場と 周辺環境の整備推進を

大津亮

Q 田野市民運動場は、市になくはないスポーツ施設である。(1)グラウンドと6号球場のバックネットの整備が必要と考えるがどうか。(2)駐車場の数が足りず路上駐車が見られるため、拡張整備を進めてはどうか。(3)運動場のトイレが利用しづらいため、増設や洋式化等を検討してはどうか。(4)駐車場で車上荒らし等の犯罪が発生しているため、防犯カメラを設置してはどうか。(5)球場周囲の道路整備と大雨時の土砂流出の対応策を講じてはどうか。

A (1)グラウンド整地や除草等を行うとともに、ネット等の設置を検討する。(2)路上駐車禁止等の啓発看板を設置するとともに、駐車スペース確保を検討する。(3)(4)(5)それぞれ現状と課題を整理し、適切な対応策を検討していく。



田野市民運動場

その他の質問

- 開放学級の充実と利用者に配慮した広報を



LGBTの尊厳等を象徴するレインボーフラッグ

その他の質問

- ナイトカルチャーへの市の見解は
- 高齢者の免許証返納に対するサービスは
- eスポーツへの取組は



今後更新が見込まれる市民センター

その他の質問

- 新市民会館の目標利用者数の根拠と管理運営費は
- 新市民会館の事業収益性と経済波及効果は
- 東海第二原発の再稼働に対する市民意向確認の具体案は



オリンピックを盛り上げる聖火リレー

その他の質問

- 市民と行政との協働に関する取組は
- 防災備蓄食品の有効活用策は
- きずなBOXの設置拡大を



地域で実施されている見守り声かけ訓練

その他の質問

- 地域包括支援センターの職員配置は
- 認知症の早期発見に関する対策は
- 介護と仕事を両立させるための施策は

多様な性別への取組と
パートナースhip制度の導入は

なめかわ
滑川
友理

Q (1)多様なセクシュアリティという考え方が主流となる中、性別の価値観の押し付けや生き方の否定等、SOGI(※)ハラスメントが数多く起きています。多様な性別に配慮した、市の社会的、教育的取組を伺いたい。(2)パートナースhip制度は特別なものではなく、誰もが平等の権利や保障を受け、生活するためのものであり、制度利用の選択肢があることが重要と考える。制度導入の見解を伺いたい。

A (1)市民への啓発、児童生徒への教育、教職員の研修等を行っている。8月から、電話による相談体制を構築する。今後も、あらゆる機会に市民意識の醸成に努める。(2)県の制度導入の動向を注視しながら、本年度策定する基本計画において、性的マイノリティのかたへの支援策を議論し、導入検討を進める。

持続可能な
公共施設維持管理の戦略は

はぎや
萩谷
一慎

Q (1)公共施設等総合管理計画では、公共施設とインフラを合わせた維持更新費は年平均で約205億円に上る。年間投資可能額から見た不足額は約46億円となるが、どのように解消していくのか。(2)昭和40年代後半～50年代に建設された公共施設が次々と更新時期を迎えている。財政負担の面でも見通しは厳しいが、既存施設の有効活用を含め、持続可能な施設維持、更新に向けての戦略を伺いたい。

A (1)予防保全型の維持管理への転換を進める。また、施設の更新時に統廃合の可能性を検討する。(2)公民連携による市民サービス提供や効率化を検討する。個別施設ごとの長寿命化計画等の策定とその進捗管理を進め、市民サービスの水準を維持向上できるように施設等の適正管理に努める。

オリンピック聖火リレーで
世界への魅力発信を

もり
森
まさ
正慶

Q 6月1日に東京2020オリンピック聖火リレーのコース概要が公表され、千波公園ふれあい広場において聖火到着式となる記念イベントセレブレーションが開催されること決定した。国内のみならず、世界に向け、県都水戸の魅力を発信できる絶好の機会と考える。そこで、市内ルートでの取組と記念イベントに向けた方策について、見解を伺いたい。

A リルート等の詳細の決定に合わせ、今後、組織委員会や県実行委員会等と連携しながら、市のイメージアップや国際交流等の推進に向けて取り組んでいく。また、セレブレーションについては、偕楽園や千波湖に近い立地を生かしながら、あらゆる世代が楽しめるイベントになるよう、関係機関と調整しながら取り組んでいく。

地域の見守り体制づくりは

こと
後藤
通子

Q 超高齢社会を迎え、地域の支え合いが必要とされる中、要介護状態や要支援状態にある人が、顔の見える切れ目のない安心した療養生活を送るためには、小中学校区でのコミュニティの活性化が非常に大切だと考える。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる環境づくりと、それらを選ぶための教育が必要と考えるが、市が実施している見守り体制づくりについて伺いたい。

A 高齢者等を見守り、異変時には市に連絡する安心・安全見守り隊や、行方不明の高齢者等の早期発見を図るSOSネットワーク等を実施しており、地域をはじめ多様な団体に協力をいただいている。今後、取組の拡充を図り、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進する。

※SOGI(ソジ)…セクシュアルオリエンテーション、ジェンダーアイデンティティの頭文字で、性的指向(好意を抱く性別)と性自認(自身が思う性別)の意味。全ての人が持っている属性。

サッカー専用 スタジアム・グラウンド整備を

こいずみ 小泉 二康

Q (1)水戸ホーリーホックは開幕から首位争いを演じ、念願のJ1昇格に向けて大いに期待される。しかし、現在のままでは、J1昇格を果たしてもホームゲームは笠松での開催となり、市にとって大きな損失となる。そこで、J1ホームゲームの開催が可能なサッカー専用スタジアムの整備を強く要望するが、市の見解を伺いたい。(2)市民が要望する(仮称)東部公園のサッカー専用グラウンドの整備進捗状況と暫定利用について、見解を伺いたい。

A (1)ケーズデンキスタジアム水戸をJ1基準を満たす施設として整備する。(2)現在、敷地造成が完成している。本年度は基盤整備を行い、来年度以降、人工芝の敷設、付帯設備の整備を行う。市民に早期にご利用いただけるよう努める。

企業版ふるさと納税を活用し みとちゃんポストの設置を

すずき 木子 鈴の宣

Q 企業版ふるさと納税は、企業が税の優遇措置を受けることができ、また、市においても財政不足を補えるものであり、さらに積極的に活用すべきと考える。そこで、当制度を活用し、みとちゃんポストの設置を提案するがどうか。ポストから投函することで、みとちゃんや偕楽園等の消印とともに、愛情のこもった文を送ることができると。水戸ならではの新たな観光スポットの創生にもつながると考えるが、市の見解を伺いたい。

A 地方創生の取組の更なる加速化に向け、民間資金を活用した財源確保の観点からも有効な制度と考える。議員提案は、新たな観光スポットとして観光客誘致につながると認識しているが、設置主体や場所、費用負担等の課題もあるため、調査、研究を進めていく。

千波公園への ランニングステーション設置を

たかくら 倉 高 富士 男

Q 市民のオアシスとして親しまれる千波公園は、偕楽園とともに市のシンボルであり、ウォーキングやランニングの活動拠点となっている。近年、更衣室やシャワー等、運動に必要な設備を完備するランニングステーション設置が全国で進んでおり、千波公園においても設置を望む声を多く聞いている。Parkrunnerを活用する際に、ランニングステーションを設置することで、効率的に整備が図られ、千波湖周辺の新たな魅力創出につながると考えるが、現在の検討状況や、整備に向けた考え方、今後の取組を伺いたい。

A 民間事業者に意向調査する中で、ランニングステーションの設置を検討したい。今後も、千波公園で多くの市民が気軽にスポーツを楽しめるよう、環境を整えていく。

デジタルサイネージ導入の 経緯と今後の展開は

わたひき 綿引 健

Q (1)市役所1階のエントランス付近にデジタルサイネージが設置され、利用者へ効果的な情報配信が行われている。デジタルサイネージ導入に当たり、その経緯及び現在の運用状況について伺いたい。(2)今後、市民センターにも導入することで、手軽かつ分かりやすい情報発信が可能になると考えるが、見解を伺いたい。また、災害情報や避難場所への誘導など防災情報を周知する際にも有効と考えるが、今後の展開について伺いたい。

A (1)市民サービスの向上や財源確保の一環として導入し、来庁者に必要な情報を提供している。(2)地域活動やイベント等の情報のみならず、災害時の情報を伝達する重要な手段であると認識しており、導入に当たって発生する課題を整理しながら検討を進める。



県立カシマサッカースタジアム(国内僅少サッカー専用)

その他の質問

- 市内各スポーツ競技人口と施設充足率について
- 国内初事業みとちゃんピカベストの更なる拡充を
- 現代アート創出でまちの彩りと心の豊かさ醸成を



東京都檜原村に設置されているひのじゃくくんポスト

その他の質問

- 企業版ふるさと納税を活用した液体ミルクの導入を
- 老人ホーム等への不在者投票制度の周知を
- 法定外公共物の管理体制の明確化を



多くのランナーに親しまれる千波公園

その他の質問

- レンタサイクル活用状況とサイクルポート設置は
- 特定健康診査等の受診率向上の取組は
- 高齢者のフレイル対策の現状は



多様な情報発信が可能なデジタルサイネージ(電子看板)

その他の質問

- 交通事故防止や快適な道路環境維持の対策は
- 通行の支障となる樹木等の管理に関する取組は

働く場の確保、雇用の創出に向けた取組は

藤 昭雄

Q 人々が豊かに暮らすために、働く場の安定的な確保が求められる。雇用の創出に向けては、企業誘致の促進や、競争力のある中小企業の育成、創業支援の推進が重要であり、市ではコワーキングスペース水戸ワグテイルの設置等の支援策を講じてきたと聞いている。そこで、(1)これまでの企業誘致の実績、(2)創業支援策、(3)若い世代のU・J・ターンの促進に向けた取組について、それぞれ伺いたい。

A (1)約53億円の民間資金による設備投資とともに、約220人の雇用創出が見込まれている。(2)ワグテイルを拠点として相談体制の強化を図ったほか、資金面での支援等に取り組んでいる。(3)マッチング機会の創出や地元企業情報の発信を行う企業ガイドブックの作成、配布等を実施している。



地元企業情報を発信する企業ガイドブック

部活の経費負担軽減と学校修繕費の増額を

土田 記代

Q (1)学校の部活動の費用は、市の補助等では足りず、保護者が支払う学校後援会費等から賄われている現状がある。後援会費に減額等の制度はなく、保護者にとって大きな負担である。部活動の経費は、市の教育予算を充てるべきと考えるがどうか。(2)学校施設の老朽化について、これまでも早急な改修整備を求めてきた。現場では、限られた予算で対応せざるを得ず、非常に苦勞している。子どもたちの安全のために学校裁量で使える修繕費の増額を求めるがどうか。

A (1)部として使用するものは市が負担している。引き続き、部活動に対して積極的に支援する。(2)簡易な修繕の場合、各学校に配当した予算の中で対応している。大きな経費がかかる場合、別に予算措置を行っている。



子どもたちの教育に重要な部活動

その他の質問

- 新市民会館整備計画は根本的な見直しを
- 東海第二原発の廃炉を求める表明を
- 沢渡川の整備と桜を生かした憩いの場を

テニスを楽しむ環境整備に向けテニスコート増設を

田 須和浩

Q テニスは競技登録者だけでなく、多くの人が健康増進等の観点から日常的に楽しむスポーツであり、健康増進や高齢者の生きがいスポーツとして豊かな市民生活に欠かせないものと考ええる。そこで、市内のテニスコートは充足しているのか、利用状況を伺いたい。また、つくば市の公共テニスコートは66面を超える一方、本市は33面である。人口比率からも充実しているとは思えない状況であり、増設していく必要があると考えるが、市の見解を伺いたい。

A 7施設33面のテニスコートを有しているが、稼働率が高く予約が取りにくい。そのため、周辺市町村のコートを利用するかたもいる。現時点で新たな整備計画はないため、利用状況等を確認しながら、適切な管理運営、計画的な改修を進める。



東町運動公園テニスコート

その他の質問

- 高齢者免許返納促進サポートにバス等利用の補助を
- ふるさと納税返礼品に親孝行タクシー券を
- 千波市民センター移転築の進捗状況を

赤塚駅西線完成に向けた今後の見通しは

福島 三辰

Q 都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線は、赤塚駅南線から常磐線の下を通過し、国道50号を結ぶ延長480m、幅員16mの道路である。平成19年1月の事業認可から、早12年が経過している。開通により、赤塚駅の南北一体化が図られ、第二副都心としてのまちづくりがより活性化し、地域住民の利便性に貢献できると考える。早急な完成が望まれるが、これまでの投資事業費と今後の予算、現状と今後の見通しを伺いたい。

A 24億8000万円実施、残事業費は約11億円を見込む。現在、立体交差部の工事を実施しており、2021年には立体交差部に接続する道路等の工事を行い、2022年度末の完成を目指す。今後も国補助金等の財源確保に努め、早期完成に向けて事業を推進する。



工事の進む赤塚駅西線

その他の質問

- 河和田、国田の地域文化財認定への取組は
- 茨城国体における水戸開催の競技種目は
- 茨城国体での地域支援体制と県の支援は

6月25日の本会議において、5つの特別委員会を設置しました。各特別委員会の目的等は、次のとおりです。

行財政改革調査特別委員会

市を取り巻く環境は、人口減少・超高齢社会の到来、地方分権改革の推進などの影響により、大きく変化していくことが予想され、そのような中でも、新ごみ処理施設や新市民会館整備の大型プロジェクトをはじめとする第6次総合計画の各種施策、中核市への移行などを確実に推進するとともに、市民ニーズへの柔軟な対応が求められている。よって、将来にわたって発展する都市、市民が誇りを持っている都市を目指し、より一層行財政改革を徹底し、質の高い行政サービスの提供と、未来に向けた財政基盤の構築を図る必要があることから、その進捗状況等について、調査、検討を行うため設置する。

委員長 須田 浩和
副委員長 栗原 文隆
委員 全議員（議長を除く）

新市民会館整備等調査特別委員会

新市民会館の早期開館に向け、施設建築物建設工事など、泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業及び周辺整備を一層推進するとともに、運営目標の3つのキーワー

ドである「にぎわう」、「はぐくむ」、「つながる」の実現に向け、指定管理者の選定、管理運営手法等について詳細な検討を行う必要がある。よって、着実な新市民会館の整備が図られるよう、その進捗状況等について、調査、検討するため設置する。

委員長 渡辺 政明
副委員長 高倉 富士男
委員 全議員（議長を除く）

新ごみ処理施設整備等調査特別委員会

市民生活において発生するごみ処理問題は、廃棄物行政の根幹的な課題であり、ごみの発生量抑制とともに安全で安定的に稼働できる新ごみ処理施設の整備が不可欠である。よって、新ごみ処理施設の建設工事や周辺地域における生活環境向上施設等の整備について、調査、検討するため設置する。

委員長 福島 辰三
副委員長 小川 勝夫
委員 全議員（議長を除く）

偕楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員会

今後、人口減少が見込まれる中、交流人口の増加を図り、本市が都市の活力を維持し、更なる発展を目指すためには、市内随一の観光資源である偕楽園・千波湖周辺の

魅力を効果的に発信するだけでなく、千波公園近接地の有効活用も含め、地域経済をけん引し、産業競争力の強化を図るための観光拠点の整備を進めることが必要である。よって、着実な偕楽園・千波湖周辺整備が図られるよう、その進捗状況等について、調査、検討するため設置する。

委員長 松本 勝久
副委員長 木本 信太郎
委員 全議員（議長を除く）

水泳競技施設等調査特別委員会

市におけるプール施設環境については、震災による青柳公園市民プールの閉鎖に加え、東町運動公園プールが閉鎖されたことにより、青柳公園屋内プール、小吹運動公園屋内プール及び大串貝塚ふれあい公園プールの3か所のみとなっており、市民が水に親しみ触れ合う機会や水泳競技施設が不足している。このような現状を踏まえ、多様なスポーツ活動を支援し、市民が水に親しみ触れ合うことのできる環境を整えるための方策や水泳競技力向上の取組方法について、調査、検討するため設置する。

委員長 袴塚 孝雄
副委員長 後藤 通子
委員 全議員（議長を除く）

議会を見よう

本市議会では、インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。今定例会から、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できるようになりました。

また、常任委員会及び特別委員会の会議記録も公開しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページ

議会中継

委員会会議記録の閲覧



都市建設委員会

土地の取得について

主な質疑 レイクサイドボウル跡地を取得する際の、当該土地にある物件を含めた所有権の移転時期、土地及び物件の登記内容、土地売買代金及び物件移転補償金の支払方法、物件移転の手順、物件が移転されない場合における残留物件処理の対応、物件移転補償仮契約締結時における立会人の有無など。

主な意見 土地を取得できた場合でも、物件の移転が完了しない限りは、土地を活用することはできない。また、茨城県において、偕楽園公園を中心とした観光魅力向上のための新たな取組をスタートさせたことから、土地の取得とあわせた物件移転の遅滞は許されないものである。よって、今後、執行部においては、円滑な土地の取得に向け、契約等各種手続行為について万全を期することを強く要望する。

全会一致可決

可決した意見書

今定例会では、次の意見書を可決しました。

児童虐待防止対策のさらなる強化を
求める意見書



陳情の結果

○不採択

1 令和元年陳情第3号 虚偽申請による家庭ごみ集積所の移設を求める陳情

本陳情については、願意に沿いがたく不採択とした。

2 令和元年陳情第4号 道路法及び道路交通法違反であるごみ集積所の撤去等を求める陳情

本陳情については、願意に沿いがたく不採択とした。

文教福祉委員会

火災予防条例の一部を改正する条例

主な質疑 住宅用防災警報器等の設置を免除する規定に特定小規模施設用自動火災報知設備を設置した場合を追加する理由、特定小規模施設用自動火災報知設備の価格及び現在の設置状況など。

主な意見 当該制度の改正について十分な周知を図られたい。

全会一致可決

平成30年度水戸市一般会計(文教福祉委員会所管分)補正予算(専決処分)

主な質疑 千波小学校トイレ大規模改造工事の内容、事業費を前年度予算に前倒し補正したことに伴う工事スケジュールへの影響の有無など。

主な意見 (1)老朽化した学校トイレについては、計画的な改修に努められたい。(2)上大野小学校校舎の長寿命化改良工事については、児童の安全を十分確保しながら着実に推進されたい。

全会一致承認

総務環境委員会

市税条例の一部を改正する条例

主な質疑 地方税法の改正に伴い実施する法人市民税の税率の引き下げや、軽自動車税における環境性能割の新設等に係る、改正に伴う市税収入への影響、地方交付税等を含めた地方財政制度など。

賛成多数可決

市税条例の一部を改正する条例(専決処分)

主な質疑 ふるさと納税制度の改正に伴い実施した関係規定の整備に係る、制度改正に対する市の考え方及びその対応策など。

主な意見 地域活性化やふるさと応援という制度本来の趣旨に沿った適切な運用に努められたい。

全会一致承認

議会日誌

5/10	代表者会議 都市建設委員会 産業水道委員会 文教福祉委員会 総務環境委員会 全員協議会	6/7	代表者会議 議会運営委員会 議会報編集委員会	6/24	議会運営委員会
5/29	初顔合わせ会	6/10	議会運営委員会 本会議	6/25	議会運営委員会 全員協議会 本会議
6/5	代表者会議 本会議 全員協議会	6/17	本会議		行財政改革調査特別委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会
6/6	本会議 代表者会議 議会運営委員会 都市建設委員会 産業水道委員会 文教福祉委員会 総務環境委員会	6/18	本会議		新ごみ処理施設整備等 調査特別委員会
		6/19	本会議 議会運営委員会 代表者会議		偕楽園・干波湖周辺整備等 調査特別委員会
		6/20	代表者会議 都市建設委員会 産業水道委員会 文教福祉委員会 総務環境委員会		水泳競技施設等調査特別委員会 議会報編集委員会
6/7	本会議	6/21	都市建設委員会 文教福祉委員会 総務環境委員会		

※同日に複数回開催した会議は1つに省略しています。

市議会の傍聴のご案内

本市議会では、本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。

各会議の傍聴を希望する場合は、下記を参考にお越しください。

	本会議	議会運営委員会、 常任委員会等	特別委員会等
定員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受付場所	8階(傍聴席入口)	7階(議会事務局)	
手続き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付(定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

【本会議の傍聴】

傍聴席には、車椅子専用スペース、磁気ループやテレビモニターを設置するなど、誰もが傍聴しやすい環境づくりを目指しています。



傍聴席(8階)



車椅子専用スペースとテレビモニター

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (提案理由説明) 議案説明会 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会					
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (代表質問)	本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	本会議 (一般質問)	常任委員会	常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日	決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	議会運営 委員会	
22	23	24	25	26	27	28
	春分の日	議会運営 委員会 全員協議会 本会議 (議了)				

※9月3～8、14～16、20～23日は議案調査

編集委員会

委員長 小川 勝夫
副委員長 栗原 文隆
委員

滑川 友理 安藏 栄 土田記代美
佐藤 昭雄 後藤 通子 森 正慶
鈴木 宣子 黒木 勇 小泉 康二
大津 亮一

編集後記



水戸市マスコットキャラクター

「みとちゃん」

令和の時代を迎え、改選後、初となる市議会定例会を開催しました。今定例会では、震災以降の懸案となっていたレイクサイドボウル跡地取得の議案をはじめ、21件の議案等について審議し、可決、承認いたしました。

今任期中には、間もなく開催される茨城国体、来年4月の中核市移行や新清掃工場「えこみっと」のオープン、新市民会館建設事業等、さまざまな事業が控えています。今後も活発な議論を尽くし、更なる市政発展に努力してまいります。

【小川 勝夫、大津 亮一、小泉 康二 記】